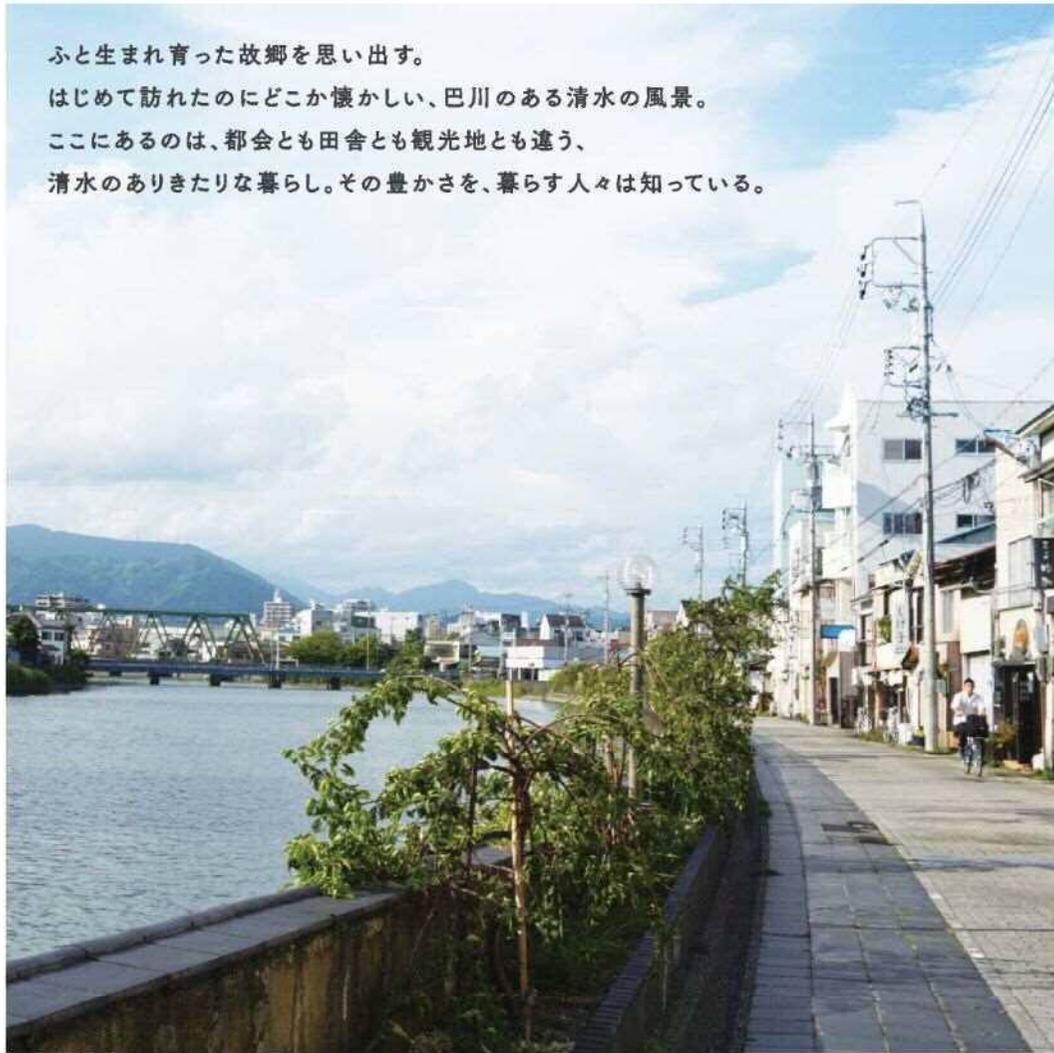


「ありきたり、でも豊かな暮らし」がちょうどいい

ふと生まれ育った故郷を思い出す。
はじめて訪れたのにどこか懐かしい、巴川のある清水の風景。
ここにあるのは、都会とも田舎とも観光地とも違う、
清水のありきたりな暮らし。その豊かさを、暮らす人々は知っている。



千歳橋周辺

通学・通勤に便利な 静鉄電車

市内を東西に走る私鉄・静岡鉄道。11kmの区間に15駅あり、朝夕は片道6〜7分毎の運転本数が確保されている。清水〜静岡の通学・通勤や中心市街地（静岡市葵区）へのお出かけに利用する。咲き誇る桜、四季折々の花、電車が通り過ぎるのを待つ下校中の学生、夕暮れ時の穏やかな巴川などの日常の風景が車窓を流れていく。



お気に入りの富士山

学校の帰り道や見通しの良い交差点から富士山が見えると気分も晴れやかになる。清水は滅多に雪が降らないため、冠雪した富士山を眺めて冬の到来を感じる。



食卓を彩る食材

清水といえば、お茶とみかん…だけではない。近所のスーパーでマグロ、生しらす、桜えびなど新鮮な魚が簡単に手に入る。毎日の献立はもちろん、がんばった日のご褒美晩酌もさらに楽しくなる。新しい生活は、リラックスした家飲みでちょっと一杯。清水の食生活は、心も体も喜ぶ。



街なかへお買い物

休日に少し気合を入れて買い物へ行くときは、個店と百貨店がひしめく中心市街地（静岡市葵区）へ。ショッピングしておしゃれなカフェでお茶するもよし、家族や友人とランチを楽しむのも良い。美術館・映画館も徒歩圏内にある。



くささ 文教のまち草薙

草薙駅を中心に商店街、大学、図書館、美術館などがある文教地区。朝夕は、多くの学生の登下校で賑わう。馴染みの店員さんとたわいもない会話をするお客さん、仕事帰りにふらりと居酒屋へ立ち寄るサラリーマン。まちを行き交うすべての人々が草薙の日常を紡いでいる。

